

道路メンテナンス事業 令和 8 年度

七野大橋橋梁修繕工事

設計書

見 積 設 計 書

工 事 番 号 宍建北工第081302号

路 線 名 等 市道室七野線

工 事 箇 所 宍粟市千種町七野 地内



宍 粟 市

総括情報表

頁0-0001/0030

単価適用年月日	00-08.10.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分（公共） 施工地域区分 前払区分 契約保証費用 週休2日補正	08 鋼橋架設 35 一般交通影響有り（2）－2 02 補正なし 1.00 01 計上する 04 週休2日補正なし		

工事費内訳書

頁0-0002/0030

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
橋梁保全工事							
橋梁補修工							
断面修復工							
左官工法							
断面修復工（左官工法）							
		1		構造物			施工 第0 -0001号内訳表
コンクリート殻積込・運搬（断面修復工） ；運搬距離 2 2 . 1 km路面：良好DID無							
		0.3		m3			施工 第0 -0002号内訳表
処分費 コンクリート殻(無筋) ；投棄量 0 . 3 m3							
		1		式			施工 第0 -0004号内訳表
現場塗装工							

工事費内訳書

頁0-0003/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁塗装工						
素地調整						
塗替塗装 [清掃・水洗い]						
	189	m2				施工 第0 -0005号内訳表
塗膜剥離工 【1回目】						
	189	m2				施工 第0 -0006号内訳表
塗膜剥離工 【2回目】						
	189	m2				施工 第0 -0007号内訳表
塗替塗装 [素地調整] 2種ケレン (動力工具と手工具の併用)						
	189	m2				施工 第0 -0008号内訳表
回収・積込み 【1回目】 塗膜除去片						
	189	m2				施工 第0 -0009号内訳表
回収・積込み 【2回目】 塗膜除去片						
	189	m2				施工 第0 -0010号内訳表
下塗						

工事費内訳書

頁0-0004/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗替塗装 [下塗り] 有機シンクリッチペイント(ハケ・ローラーⅡ)2回塗り/層	189	m2				施工 第0 -0011号内訳表
塗替塗装 [下塗り] 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハケ・ローラー)2層	189	m2				施工 第0 -0012号内訳表
中塗						
塗替塗装 [中塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]	189	m2				施工 第0 -0013号内訳表
上塗						
塗替塗装 [上塗り] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]	189	m2				施工 第0 -0014号内訳表
運搬処理工						
塗膜片運搬						
運搬費 ; 運搬距離 8 5 . 1 km	1	台				施工 第0 -0015号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜処分						
受入価格(塗膜片) 170kg 1m3まで一律 見積単価	1		式			1 処分費
仮設工						
足場工						
足場						
主体足場工	130		m2			施工 第0 -0016号内訳表
朝顔工	130		m2			施工 第0 -0017号内訳表
シート張防護工 1枚目	130		m2			施工 第0 -0018号内訳表
シート張防護工 2枚目	130		m2			施工 第0 -0019号内訳表

工事費内訳書

頁0-0006/0030

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
シート張防護工 3枚目						
	130		m2			施工 第0 -0020号内訳表
ばく露防止対策						
ばく露防止施設						
真空掃除機						
	1		式			施工 第0 -0021号内訳表
簡易セキュリティルーム W1500*L4500*H2150						
建設物価1誌の単価	1		組			
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員 B						
	6		人日			施工 第0 -0022号内訳表
直接工事費計						

工事費内訳書

頁0-0007/0030

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費計											
安全費											
					式						
衛生保護具										施工 第0 -0023号内訳表	
		1			式						
共通仮設費率分											
					式						
純工事費計											
現場管理費											
					式						
工事原価計											
一般管理費等											
					式						
工事価格計											

工事費内訳書

頁0-0008/0030

費目・工種・種別・細目		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
消費税相当額											
					式						
総計											

施工単価表

施工 第0 -0001号内訳表

頁0-0009/0030

断面修復工（左官工法）

[規格1]		[規格2]	[摘要]		1	1	1	1
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役				人				1
特殊作業員				人				1
普通作業員				人				1
断面修復材				m3				
諸雑費				%			#01	
単 位 当 り		1		構造物				
A 作業区分			=1		鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->有り			
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)			=0.34		1 構造物当りの延べ体積(m3)			
C ★★断面修復材の単価(円/m3)			=		★★断面修復材の単価(円/m3)			

施工単価表

施工 第0 -0002号内訳表

頁0-0010/0030

コンクリート殻積込・運搬（断面修復工）

[規格1]

[規格2]

[摘要]

10

m3

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
ダンプトラック運転 路面：良好		日			
合 計	10	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 運搬距離 (km) B 路面状態 C DID区間		=22.1 =1 =1	運搬距離 (km) 路面：良好 DID無		

頁0-0011/0030

当り

13/59

施工 第0 -0005号内訳表

頁0-0012/0030

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

当り

塗替塗装工 清掃水洗い [昼間]
制約無 機労

施工単価表

施工 第0 -0006号内訳表

頁0-0013/0030

塗膜剥離工

[規格1] 【1回目】	[規格2]	[摘要]	10	m2	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	10	m2			土木施工単価、土木コスト情報2誌の平均
塗膜剥離剤 STRIPPER同等品以上	7.5	Kg			建設物価、積算資料2誌の平均単価
合 計	10	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工 第0 -0007号内訳表

頁0-0014/0030

〔規格 1〕【2回目】

[規格 2]

[摘要]

10

当り

[illegible]

施工 第0 -0008号内訳表

頁0-0015/0030

〔規格 1〕 2 種ケレン（動力工具と手工具の併用）

[摘要]

1	m2	当り
---	----	----

塗替塗装工 素地調整 [昼間]
2種ケレ 制約無 機労

施工 第0 -0009号内訳表

頁0-0016/0030

〔規格 1〕【1回目】 塗膜除去片

[規格 2]

[摘要]

10

当り

[illegible]

施工 第0 -0010号内訳表

頁0-0017/0030

〔規格 1〕【2回目】 塗膜除去片

[規格 2]

[摘要]

10

当り

[illegible]

施工 第0 -0011号内訳表

頁0-0018/0030

〔規格1〕有機ジンクリッチペイント(ハケ・ローラーⅡ)2回塗り/層

[摘要]

1	m2	当り
---	----	----

塗替塗装工 下塗 有機ゾンリッチ [昼間]
300×2回 制約無 機労材

施工 第0 -0012号内訳表

頁0-0019/0030

〔規格1〕弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハ・ローラー)2層

[摘要]

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0 -0013号内訳表

頁0-0020/0030

[規格 1] 弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

施工 第0 -0014号内訳表

頁0-0021/0030

〔規格 1〕弱溶剤形ふっ素樹脂〔濃彩〕

[規格 2]

[摘要]

当り

[illegible]

施工 第0 -0015号内訳表

頁0-0022/0030

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

1	台	当り
---	---	----

運搬費	
-----	--

施工単価表

施工 第0 -0016号内訳表

頁0-0023/0030

主体足場工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 足場の種類			=1		パイプ吊足場			
B 桁形式			=1		プレートガーター・ボックスガーター			
C 工種と区分			=11		兼用使用 (Case V：床版工事)			
E 床版用足場の供用月数 (x 2)			=0.6		床版用足場の供用月数 (x 2)			
I 主体足場の塗装工事期間の供用月数 (X 3)			=1.4		主体足場の塗装工事期間の供用月数 (X 3)			

施工単価表

施工 第0 -0017号内訳表

頁0-0024/0030

朝顔工

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N 1	
橋りょう特殊工				人			撤去：N 2	
足場賃料		1.00		m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 桁形式				=1	プレートガーダ・ボックスガーダ			
B 工種と区分				=6	兼用使用（C a s e V：床版工事）			
C 床版用足場の供用月数（x 2）				=0.6	床版用足場の供用月数（x 2）			
D 朝顔の区分				=1	両側朝顔			

施工単価表

施工 第0 -0018号内訳表

頁0-0025/0030

シート張防護工

[規格1]1枚目		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N1	
橋りょう特殊工				人			撤去：N2	
シート張防護材賃料				m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 朝顔の区分種類			=1		両側朝顔			
B 供用月数(月)			=1		供用月数(月)			

施工単価表

施工 第0 -0019号内訳表

頁0-0026/0030

シート張防護工

[規格1]2枚目		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置 : N1	
橋りょう特殊工				人			撤去 : N2	
シート張防護材賃料				m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 朝顔の区分種類				=1	両側朝顔			
B 供用月数(月)				=0.7	供用月数(月)			

施工単価表

施工 第0 -0020号内訳表

頁0-0027/0030

シート張防護工

[規格1]3枚目		[規格2]		[摘要]		1	m2	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
橋りょう特殊工				人			設置：N1	
橋りょう特殊工				人			撤去：N2	
シート張防護材賃料				m2				
単 位 当 り		1		m2				
A 朝顔の区分種類				=1	両側朝顔			
B 供用月数(月)				=0.3	供用月数(月)			

施工単価表

施工 第0 -0021号内訳表

頁0-0028/0030

真空掃除機

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	式	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
真空掃除機 GM80 (MT) 同等品以上 リース	0.7	ヵ月			見積単価
消耗品 (ﾌﾟﾗﾎｰｽ・ﾉｽﾞﾙ・ﾊﾟｲﾌﾟ) 真空掃除機用	1	セット			見積単価
ﾀﾞｽﾄﾊﾟｯｸ 真空掃除機用	19	枚			見積単価
メインフィルター 真空掃除機用	1	個			見積単価
マイクロフィルター 真空掃除機用	1	個			見積単価
HEPAフィルター 真空掃除機用	1	個			見積単価
単 位 当 り	1	式			

施工 第0 -0022号内訳表

頁0-0029/0030

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人目

当り

交通誘導警備員 B

名 称 · 規 格

数	量
---	---

单 位

單	價
---	---

金額

備

考

単位当り

1

人目

A	交通誘導警備員区分
B	労務費調整係数

	$=2$
	$=1$

交通誘導警備員 B
労務費調整係数

施工単価表

施工 第0 -0023号内訳表

頁0-0030/0030

衛生保護具

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	式	当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電動ファン付呼吸用保護具(フィルタ含) 全面形面体 BL-700HA-03同等品以上 粒子捕集効率:99.97%以上	6	個			建設物価1誌の単価
アルファリングフィルタ BRD-7型 同等品以上 区分1対応品	54	個			建設物価1誌の単価
化学防護服 タイベックソフトウェアⅢ型 同等品以上	114	着			建設物価1誌の単価
化学防護手袋 ニトリル防護手袋 58-435 同等品以上	60	双			建設物価1誌の単価
単 位 当 り	1	式			

積算参考資料

本工事の積算で設定した見積単価及び特別調査単価を以下に示す。

注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

[illegible]

数量総括表

工 事 名	七野大橋橋梁修繕工事					当初
工種 種別 細別	名 称	規格	算 式	数 量	単 位	摘 要
本工事費						
橋梁保全工事						
橋梁補修工						
断面修復工						
左官工法						
	断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレンあり	= 1.0	1	構造物	V=0.34m3
	コンクリート殻積込・運搬 (断面修復工)		= 0.34	0.3	m3	L=22.1km
	処分費	Co殻(無筋)	= 1.0	1	式	V=0.3m3
現場塗装工						
橋梁塗装工						
素地調整						
	塗替塗装 [清掃・水洗い]		= 189.5	189	m2	
	塗膜剥離工	1回目	= 189.5	189	m2	
	塗膜剥離工	2回目	= 189.5	189	m2	
	塗替塗装 [素地調整]	2種ケレン	= 189.5	189	m2	

数量総括表

工 事 名		七野大橋橋梁修繕工事					当初
工種	種別	名 称	規格	算 式	数 量	単 位	摘 要
	細別						
		回収・積込み	1回目 塗膜除去片	= 189.5	189	m2	
		回収・積込み	2回目 塗膜除去片	= 189.5	189	m2	
	下塗り						
	塗替塗装 [下塗り]	有機シンクリッチペイント(ハケ・ローラーⅡ)		= 189.5	189	m2	
	塗替塗装 [下塗り]	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(ハケ・ローラー)2層		= 189.5	189	m2	
	中塗り						
	塗替塗装 [中塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]		= 189.5	189	m2	
	上塗り						
	塗替塗装 [上塗り]	弱溶剤形ふっ素樹脂[濃彩]		= 189.5	189	m2	
	運搬処理工						
	塗膜片運搬						
	運搬費			= 1.0	1	台	L=85.1km
	塗膜処分						
	受入価格(塗膜片)			= 1.0	1	式	170kg

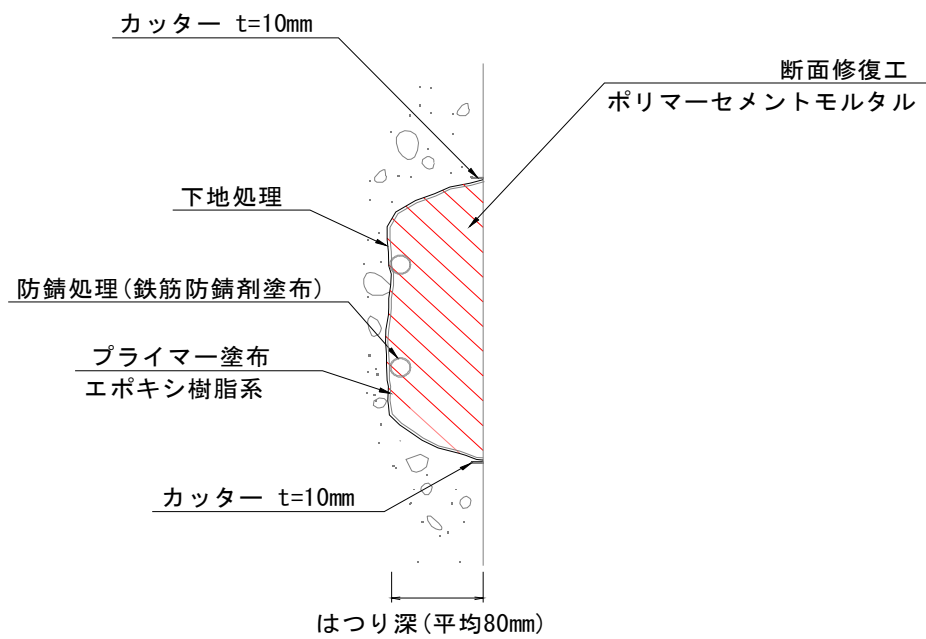
数量総括表

工 事 名	七野大橋橋梁修繕工事					当初
工種 種別 細別	名 称	規格	算 式	数 量	単 位	摘 要
仮設工						
足場工						
足場						
	主体足場		= 131.7	130	m2	
	朝顔工	両側朝顔	= 131.7	130	m2	
	シート張防護工	1枚目	= 131.7	130	m2	
	シート張防護工	2枚目	= 131.7	130	m2	
	シート張防護工	3枚目	= 131.7	130	m2	
ばく露防止対策						
ばく露防止施設						
	真空掃除機		= 1.0	1	式	
	簡易セキュリティルーム		= 1.0	1	組	
交通管理工						
交通誘導員						
	交通誘導員B		= 6.0	6	人日	

[illegible]

(1) 断面修復工

(ポリマーセメントモルタル)



1. 数量集計表

1) 上部構造

工種	名 称	仕 様・寸 法	単位	数 量	摘 要
断面修復工 (左官工法)	コンクリート殻処分工	t =80mm	m3	0.34	
	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	m3	0.34	

2. 数量算出

1) 断面修復工面積

- ・ 上部構造

桁下:歩道部 A1-P1間

番号	損傷の種類	損傷範囲			箇所	面積 (m ²)	備 考
		縦 (mm)	×	横 (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	130	×	170	1	0.022	床版,鉄筋防錆有
2	剥離・鉄筋露出	600	×	190	1	0.114	床版,鉄筋防錆有
3	剥離・鉄筋露出	220	×	200	1	0.044	床版,鉄筋防錆有
4	剥離・鉄筋露出	100	×	160	1	0.016	床版,鉄筋防錆有
5	剥離・鉄筋露出	100	×	150	1	0.015	床版,鉄筋防錆有
6	剥離・鉄筋露出	100	×	150	1	0.015	床版,鉄筋防錆有
7	剥離・鉄筋露出	550	×	100	1	0.055	床版,鉄筋防錆有
8	剥離・鉄筋露出	170	×	200	1	0.034	床版,鉄筋防錆有
9	剥離・鉄筋露出	70	×	110	1	0.008	床版,鉄筋防錆有
10	剥離・鉄筋露出	130	×	260	1	0.034	床版,鉄筋防錆有
11	剥離・鉄筋露出	130	×	190	1	0.025	床版,鉄筋防錆有
12	剥離・鉄筋露出	170	×	190	1	0.032	床版,鉄筋防錆有
13	剥離・鉄筋露出	280	×	100	1	0.028	床版,鉄筋防錆有
14	剥離・鉄筋露出	350	×	190	1	0.067	床版,鉄筋防錆有
15	剥離・鉄筋露出	530	×	280	1	0.148	床版,鉄筋防錆有
16	剥離・鉄筋露出	60	×	50	1	0.003	床版,鉄筋防錆有
17	剥離・鉄筋露出	70	×	70	1	0.005	床版,鉄筋防錆有
18	剥離・鉄筋露出	50	×	80	1	0.004	床版,鉄筋防錆有
19	剥離・鉄筋露出	150	×	250	1	0.038	床版,鉄筋防錆有
20	剥離・鉄筋露出	80	×	50	1	0.004	床版,鉄筋防錆有
21	剥離・鉄筋露出	90	×	40	1	0.004	床版,鉄筋防錆有
22	剥離・鉄筋露出	120	×	130	1	0.016	床版,鉄筋防錆有
23	剥離・鉄筋露出	170	×	180	1	0.031	床版,鉄筋防錆有
24	剥離・鉄筋露出	80	×	80	1	0.006	床版,鉄筋防錆有
25	剥離・鉄筋露出	50	×	70	1	0.004	床版,鉄筋防錆有
26	剥離・鉄筋露出	180	×	200	1	0.036	床版,鉄筋防錆有
27	剥離・鉄筋露出	500	×	150	1	0.075	床版,鉄筋防錆有
28	剥離・鉄筋露出	150	×	220	1	0.033	床版,鉄筋防錆有
29	剥離・鉄筋露出	150	×	220	1	0.033	床版,鉄筋防錆有
30	剥離・鉄筋露出	200	×	200	1	0.040	床版,鉄筋防錆有
31	剥離・鉄筋露出	1900	×	200	1	0.380	床版,鉄筋防錆有
32	剥離・鉄筋露出	80	×	120	1	0.010	床版,鉄筋防錆有
33	剥離・鉄筋露出	120	×	80	1	0.010	床版,鉄筋防錆有
34	剥離・鉄筋露出	250	×	60	1	0.015	床版,鉄筋防錆有
35	剥離・鉄筋露出	120	×	80	1	0.010	床版,鉄筋防錆有
36	剥離・鉄筋露出	80	×	150	1	0.012	床版,鉄筋防錆有
37	剥離・鉄筋露出	350	×	200	1	0.070	床版,鉄筋防錆有
38	剥離・鉄筋露出	130	×	160	1	0.021	床版,鉄筋防錆有
39	剥離・鉄筋露出	180	×	150	1	0.027	床版,鉄筋防錆有
40	剥離・鉄筋露出	150	×	200	1	0.030	床版,鉄筋防錆有
41	剥離・鉄筋露出	200	×	100	1	0.020	床版,鉄筋防錆有
42	剥離・鉄筋露出	100	×	80	1	0.008	床版,鉄筋防錆有
43	剥離・鉄筋露出	450	×	300	1	0.135	床版,鉄筋防錆有
44	剥離・鉄筋露出	80	×	120	1	0.010	床版,鉄筋防錆有
45	剥離・鉄筋露出	110	×	130	1	0.014	床版,鉄筋防錆有
46	剥離・鉄筋露出	160	×	260	1	0.042	床版,鉄筋防錆有
47	剥離・鉄筋露出	90	×	120	1	0.011	床版,鉄筋防錆有
48	剥離・鉄筋露出	130	×	180	1	0.023	床版,鉄筋防錆有
49	剥離・鉄筋露出	180	×	140	1	0.025	床版,鉄筋防錆有
50	剥離・鉄筋露出	90	×	200	1	0.018	床版,鉄筋防錆有
51	剥離・鉄筋露出	160	×	130	1	0.021	床版,鉄筋防錆有
合計						1.901	

桁下:歩道部 P1-A2間

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m ²)	備 考
		縦(mm)	× 横(mm)			
1	剥離・鉄筋露出	190	× 230	1	0.044	床版,鉄筋防錆有
2	剥離・鉄筋露出	190	× 140	1	0.027	床版,鉄筋防錆有
3	剥離・鉄筋露出	1500	× 350	1	0.525	床版,鉄筋防錆有
4	剥離・鉄筋露出	90	× 80	1	0.007	床版,鉄筋防錆有
5	剥離・鉄筋露出	90	× 90	1	0.008	床版,鉄筋防錆有
6	剥離・鉄筋露出	230	× 130	1	0.030	床版,鉄筋防錆有
7	剥離・鉄筋露出	80	× 80	1	0.006	床版,鉄筋防錆有
8	剥離・鉄筋露出	230	× 260	1	0.060	床版,鉄筋防錆有
9	剥離・鉄筋露出	100	× 100	1	0.010	床版,鉄筋防錆有
10	剥離・鉄筋露出	250	× 200	1	0.050	床版,鉄筋防錆有
11	剥離・鉄筋露出	230	× 200	1	0.046	床版,鉄筋防錆有
12	剥離・鉄筋露出	200	× 120	1	0.024	床版,鉄筋防錆有
13	剥離・鉄筋露出	80	× 80	1	0.006	床版,鉄筋防錆有
14	剥離・鉄筋露出	100	× 80	1	0.008	床版,鉄筋防錆有
15	剥離・鉄筋露出	180	× 110	1	0.020	床版,鉄筋防錆有
16	剥離・鉄筋露出	150	× 310	1	0.047	床版,鉄筋防錆有
17	剥離・鉄筋露出	120	× 250	1	0.030	床版,鉄筋防錆有
18	剥離・鉄筋露出	230	× 350	1	0.081	床版,鉄筋防錆有
19	剥離・鉄筋露出	120	× 200	1	0.024	床版,鉄筋防錆有
20	剥離・鉄筋露出	230	× 300	1	0.069	床版,鉄筋防錆有
21	剥離・鉄筋露出	290	× 250	1	0.073	床版,鉄筋防錆有
22	剥離・鉄筋露出	300	× 200	1	0.060	床版,鉄筋防錆有
23	剥離・鉄筋露出	250	× 170	1	0.043	床版,鉄筋防錆有
24	剥離・鉄筋露出	300	× 200	1	0.060	床版,鉄筋防錆有
25	剥離・鉄筋露出	480	× 280	1	0.134	床版,鉄筋防錆有
26	剥離・鉄筋露出	450	× 400	1	0.180	床版,鉄筋防錆有
27	剥離・鉄筋露出	200	× 100	1	0.020	床版,鉄筋防錆有
28	剥離・鉄筋露出	100	× 400	1	0.040	床版,鉄筋防錆有
29	剥離・鉄筋露出	130	× 170	1	0.022	床版,鉄筋防錆有
30	剥離・鉄筋露出	180	× 250	1	0.045	床版,鉄筋防錆有
31	剥離・鉄筋露出	200	× 420	1	0.084	床版,鉄筋防錆有
32	剥離・鉄筋露出	550	× 400	1	0.220	床版,鉄筋防錆有
33	剥離・鉄筋露出	1250	× 150	1	0.188	床版,鉄筋防錆有
合計					2.291	

・ 上部構造合計

桁下:歩道部 A1-P1間

桁下:歩道部 P1-A2間

$$\Sigma A = 1.901 + 2.291 = 4.192 \text{ m}^2$$

$$\text{A1-P1間} \quad \Sigma V = 1.9010 \times 0.080 = 0.1521 \text{ m}^3$$

$$\text{P1-A2間} \quad \Sigma V = 2.2910 \times 0.080 = 0.1833 \text{ m}^3$$

$$\text{合計} \quad \Sigma V = 0.1521 + 0.1833 = 0.3354 \text{ m}^3$$

(2) 塗替え塗装工

1. 数量集計表

工種	種別	仕様	単位	合計	備考
塗替え 塗装工	塗装面積	Rc-Ⅱ 塗装系	m2	189.5	主桁, 横桁, 縦桁 支承
	塗膜剥離剤	STRIPPER同等品以上 2回塗り	m2	189.5	
	素地調整面積	2種ケレン	m2	189.5	

2. 数量内訳 (A1-A2)

種別	部材寸法 (m)	個数 (個)	塗装面積 既設部材 Rc-Ⅱ 塗装系		素地調整面積 既設部材 2種ケレン		摘要	ネット率 (%)
			面数	(m2)	面数	(m2)		
	主桁・縦桁 G1~G4							
PL	1.794 x 14.455	3	1	77.80	1	77.80	主桁 A1-P1	100%
PL	1.794 x 14.445	3	1	77.74	1	77.74	主桁 P1-A2	100%
PL	1.794 x 3.000	1	1	5.38	1	5.38	縦桁 P1-A2	100%
PL	0.090 x 0.564	20	2	2.03	2	2.03	V. STIF A1-P1	100%
PL	0.090 x 0.564	22	2	2.23	2	2.23	V. STIF P1-A2	100%
主桁・縦桁 G1~G4 計				165.18 m2		165.18 m2		
	端横桁 (9箇所)							
溝形鋼	0.840 x 1.547	4	1	5.20	1	5.20	端横桁 A1-P1	100%
溝形鋼	0.840 x 1.547	4	1	5.20	1	5.20	端横桁 P1-A2	100%
溝形鋼	0.840 x 1.335	1	1	1.12	1	1.12	端横桁 P1-A2	100%
PL	0.200 x 0.230	8	2	0.52	2	0.52	GUSS A1-P1	71%
PL	0.200 x 0.230	10	2	0.65	2	0.65	GUSS P1-A2	71%
控除	(0.085) x 0.250	8	2	-0.34	2	-0.34	端横桁:V. STIF A1-P1	100%
控除	(0.085) x 0.250	10	2	-0.43	2	-0.43	端横桁:V. STIF P1-A2	100%
控除	(0.085) x 0.230	8	2	-0.31	2	-0.31	V. STIF:GUSS A1-P1	100%
控除	(0.085) x 0.230	10	2	-0.39	2	-0.39	V. STIF:GUSS P1-A2	100%
端横桁 (9箇所) 計				11.22 m2		11.22 m2		

種別	部材寸法	個数	塗装面積 既設部材 Rc-Ⅱ 塗装系		素地調整面積 既設部材 2種ケレン		摘要	ネット率
	(m)	(個)	面 数	(m2)	面 数	(m2)		(%)
	中間横桁(8箇所)							
溝形鋼	0.840 x 1.547	4	1	5.20	1	5.20	中間横桁 A1-P1	100%
溝形鋼	0.840 x 1.547	4	1	5.20	1	5.20	中間横桁 P1-A2	100%
控除	(0.085) x 0.250	8	2	-0.34	2	-0.34	端横桁・V.STIF A1-P1	100%
控除	(0.085) x 0.250	8	2	-0.34	2	-0.34	端横桁・V.STIF P1-A2	100%
中間横桁(8箇所)		計		9.72 m2		9.72 m2		
	支承(13箇所)							
固定側	0.28 m2/1支承当り	6	1	1.68	1	1.68		
可動側	0.24 m2/1支承当り	7	1	1.68	1	1.68		
支承(13箇所)		計		3.36 m2		3.36 m2		
A1-A2		合計		189.48 m2		189.48 m2		

3. 剥離剤使用量

標準使用量0.7kg/㎡より									
189.48	×	0.7	×	1.07	=	141.92	kg		

(3) 足場工

1. 数量集計表

工種	名 称	仕 様・寸 法	単位	数 量	摘 要
足場工	主体足場（吊り足場）	Type-A1	m2	131.7	
	朝顔（両側）	Type-B	m2	131.7	
防護工	シート張防護	1枚目	m2	131.7	
	シート張防護	2枚目	m2	131.7	
	シート張防護	3枚目	m2	131.7	

2. 数量内訳

1) 足場面積（設置面積）

吊り足場

A1	=	4.240	×	28.950		=	122.75	m2
A2	=	1.500	×	2.920	/ 2	=	2.19	m2
A3	=	1.500	×	4.500		=	6.75	m2
ΣA							=	131.69 m2

2) 補修用足場工

主体足場（吊り足場） Type-A1

A	=	131.7		=	131.7	m2
---	---	-------	--	---	-------	----

朝顔（両側） Type-B

A	=	131.7		=	131.7	m2
---	---	-------	--	---	-------	----

3) 防護工

朝顔シート張防護	A	=	131.7		=	131.7	m2
----------	---	---	-------	--	---	-------	----

特記仕様書

工 事 名 七野大橋橋梁修繕工事

工事場所 宍粟市千種町七野 地内

工 期 令和9年3月25日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

土木工事共通仕様書（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木請負工事必携（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

土木工事施工管理基準（兵庫県土木部）〔平成29年12月〕（最新改訂版）

小型構造物標準図集（兵庫県土木部）〔平成25年10月〕（最新改訂版）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶(報告)すること。
2. （工事用地区域外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事用地以外の区域へ立入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第4条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第5条 工事中の安全確保

1. （工法変更等への対応）
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床堀法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第6条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の有資格)
 - ① 本工事に配置する交通誘導員は、警備員等の検定等に関する規則(平成17年11月18日国家公安委員会規則第20号)等に基づき、交通誘導警備検定合格者(1級又は2級)を規制箇所毎に1名以上配置することとする。
 - ② 受注者は、配置した交通誘導警備検定合格者の検定合格証(写し)を監督員に提出するものとする。
4. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配 置 場 所	交通誘導員	編 成	昼夜別	交替要員の有無
起終点	2名/日	交通誘導員B 2名	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

5. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第7条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分にあたっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 特定建設資材廃棄物を処分する場合(特定建設資材の分別解体等・再資源化等)
特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の①と②の積算条件を設定している。

① 分別解体等の方法

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

上記①の「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材 廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
コンクリート塊 (無筋)	(株)岸本建材運輸	22.1 km	一宮町東市場 字三軒家 389-1	兵庫県土木部の「建設 副産物の処理ならびに 受入価格」に掲載され る当該施設の受入条件 を遵守すること	監督員の指 示による

上表②については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

4. 塗膜片を処分する場合

廃棄物の種類	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
塗膜片	関西環境建設(株)	85.1km	兵庫県神戸 市西区岩岡 町野中宇福 吉 540 番地 6	当該施設の受入条件 を遵守すること。	監督員の 指示によ る。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。ただし、塗膜片の処分量が暫定数量であるため、処分量の確定後、再精査の結果によっては、設計変更を行う。

5. 建設リサイクル法等に基づく手続き

受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第 12 条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県 HP に掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

6. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式25の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

7. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。

8. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。

9. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成15年3月17日兵庫県条例第23号）第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。（工作物等解体工事は請負代金500万円以上、建築物解体工事は延床面積80㎡以上）

第8条 週休2日確保工事について

1. 本工事は、原則週休2日（土曜・日曜）を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の対象工事であり、その旨を工事看板（看板④）に明記すること。（受注者は契約後、施工計画書を提出する。）建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行う。

2. 悪天候や作業工程等の理由により、平日が現場閉所となり、土曜や日曜に作業を行った場合は、1ヶ月あたり2日を上限として、土曜・日曜の現場閉所を平日に振り替えることを可能とする。なお、完全週休2日（同一週内での週休2日）または月単位の週休2日が認められる状態になるよう振り替えること。

3. 現場稼働中の工期〔工事着手（現場測量等）前、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、一時中止期間、工場製作期間、工事完了後等の期間を除く〕において現場閉所の週休2日（完全週休2日（土日）または月単位の週休2日）を達成した場合に工事成績の評価を行う。

明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、「法令遵守等」で減点措置を行う。

4. 現場閉所の確認のため、受注者は工事履行報告書を提出すること。

5. 土曜・日曜の休日に受注者の作業員や下請け企業が他の現場で作業に従事することを制限しない。同様に現場代理人等（監理技術者、主任技術者、監理技術者補佐）が休日に書類作成等の内業や他の現場に従事することを制限しない。但し、専任の者である場合、他の現場に従事しないこと。受注者は週休2日制度から週休2日制度（交替制）へ変更する場合、工事着手までに発注者と協議の上、変更することができる。ただし、工事着手後の変更は認めない。

第9条 特定外来生物の駆除について

1. 工事着手前に工事区域内において、以下に示す特定外来生物が生育していないか現地踏査を行い、特定外来生物の生育の有無を、監督員に報告すること。なお、下記に記載の特定外来生物の生育が確認された場合は、別途、施工計画書にその処分、運搬方法等について記載すること。

・特定外来生物の種類：

アルゼンテナ・フィロセロデス（カエツルノゲイトリ）、ヒステリア・ストリクタス（ボナンザクサ）、アゾラ・クリスタ、コレオプシス・ランケラタ（オキクヱグ）、ギムノコロニス・スピラントデス（ミズヒマリ）、ルトベギア・ラキアタ（オハゴンソウ）、セネオ・マダガスカリエンシス（ナルサグキ）、スギョオス・アンガラウス（アチウリ）、ミリオフォルム・アクアティム（オオサメ）、ルトウギア・グランディフロラ（オハナミズキンバイ等）、ウエロカ・アカリス・アクアティカ（オカザシヤ）、の植物11種

（詳細については、下記の環境省ホームページ

URL：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> を参照）

2. 確認された特定外来生物の防除を行う場合、別紙防除実施計画書に基づいて個体を採取し、処分しなければならない。

3. 特定外来生物の防除完了後、防除記録台帳を作成し、監督員に提出すること。
4. 特定外来生物を含む残土については、極力、現場内にて処分するよう努めること。

第10条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第11条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。（データのみの提出はしないこと）

第12条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第13条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。
2. （コンクリート管理）
 - ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。（請負必携 21 参照）
 - ② コンクリートの強度管理については、標準養生の他、現場空中養生も行うこととする。
 - ③ 鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを構造物の側面については原則 1 m²につき 2 個以上、構造物の底面については原則 1 m²につき 4 個以上設置する。
3. （セメントコンクリート製品）
 - ① 本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。なお、「小型構造物標準図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。
 - ② 品質確認は、「セメントコンクリート二次製品の取組要領」（兵庫県県土整備部）〔平成27年1月〕に基づき実施する。

第14条 一般施工

1. （とりこわし工）

コンクリート構造物を取り壊した時は、速やかに取壊し数量及び根拠となる図面を監督員に提出しなければならない。

第15条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。（設計変更可以使用できる図面と数量を提出すること。）

第16条 工事標示板等

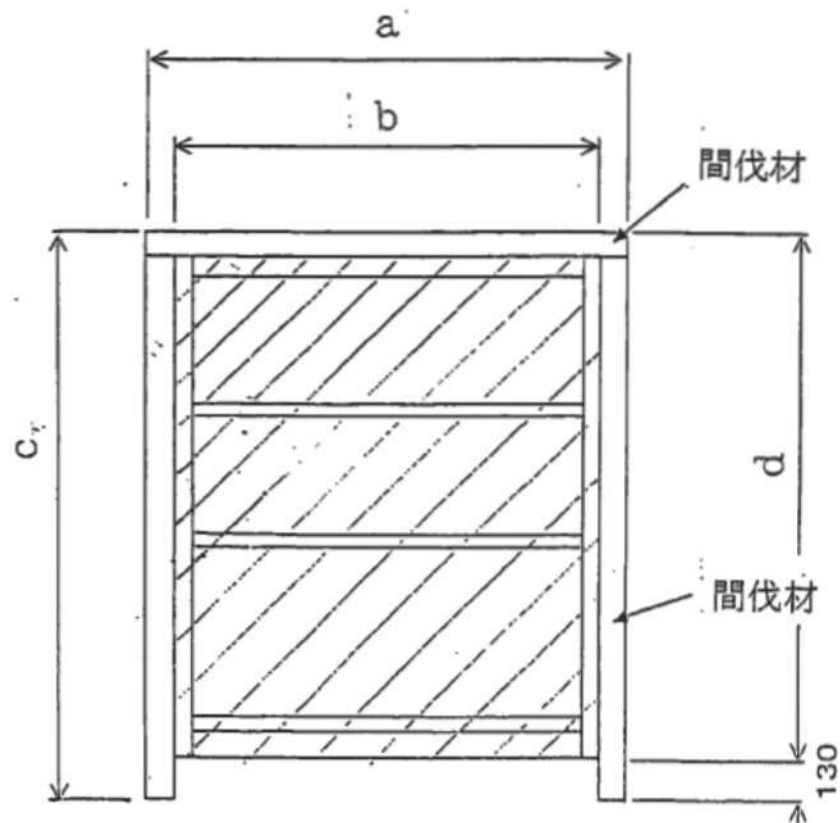
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。（看板①）
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第17条 その他施工関係

1. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているので、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
2. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
3. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
4. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
5. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
6. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
7. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材（杉・檜・松）

（例）

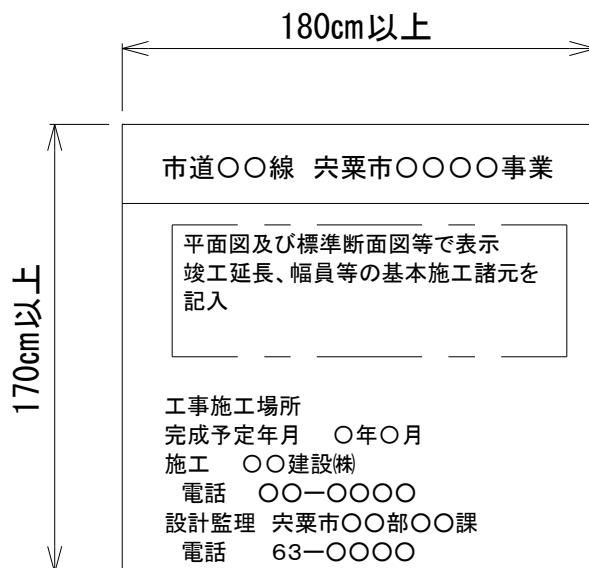


※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。

※下地は、白色とする。

【看板②】

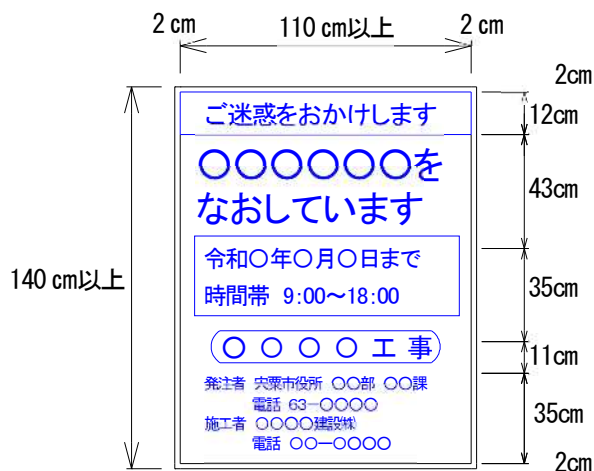
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注)(1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

【看板③】

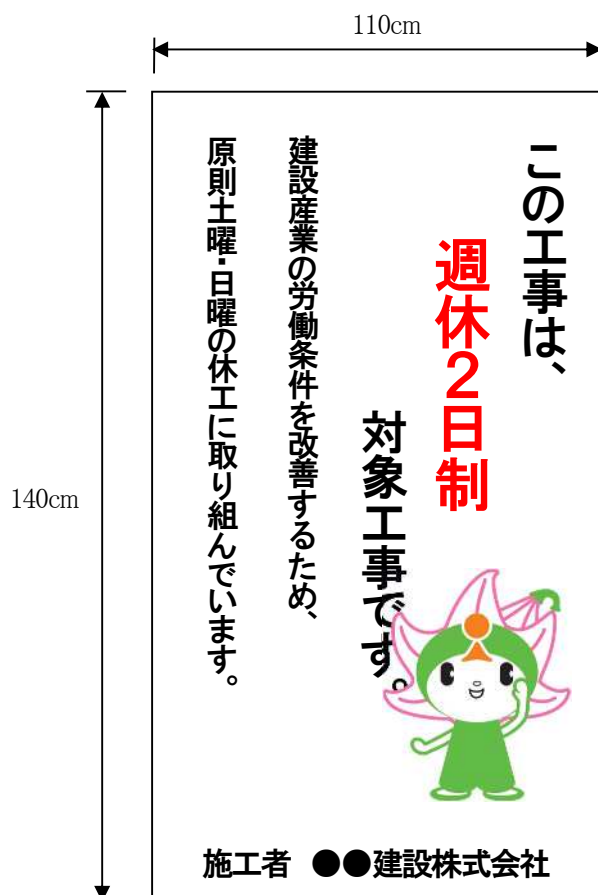
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



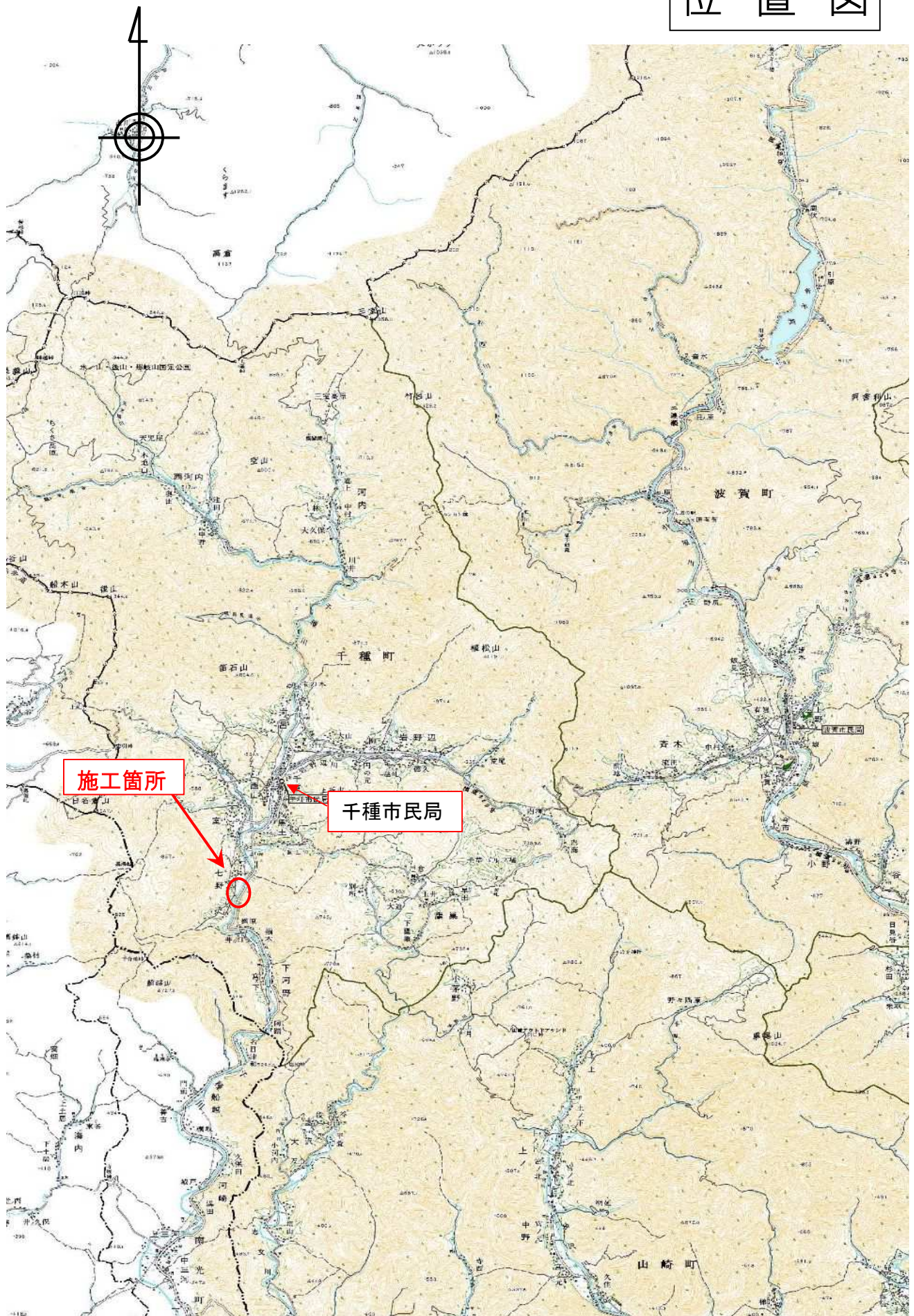
- (注)(1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、下地を白色とする。
- (2) 縁の余白は 2cm、縁線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

【看板④】

＜週休2日制度対象工事であることを明記する工事看板例＞

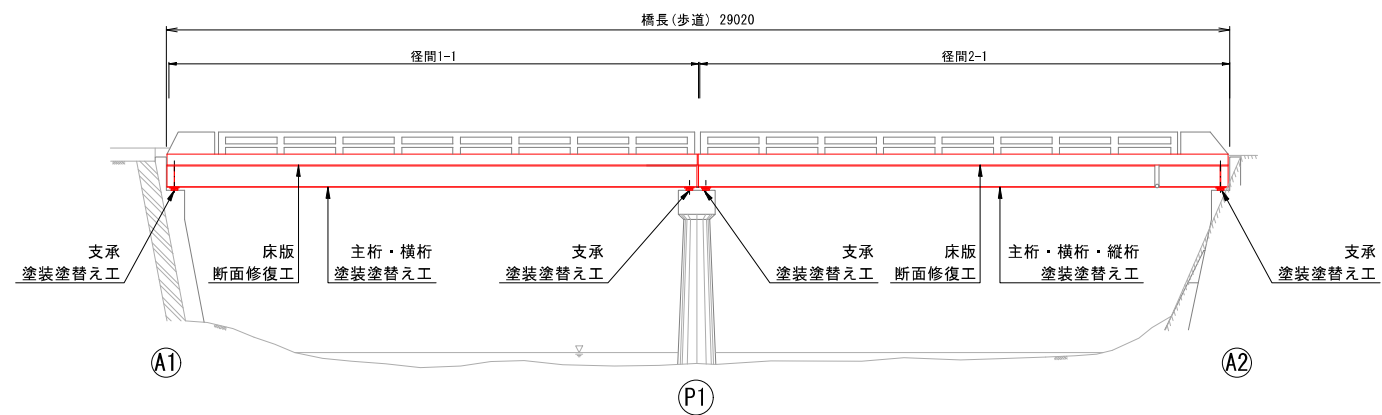


位置図

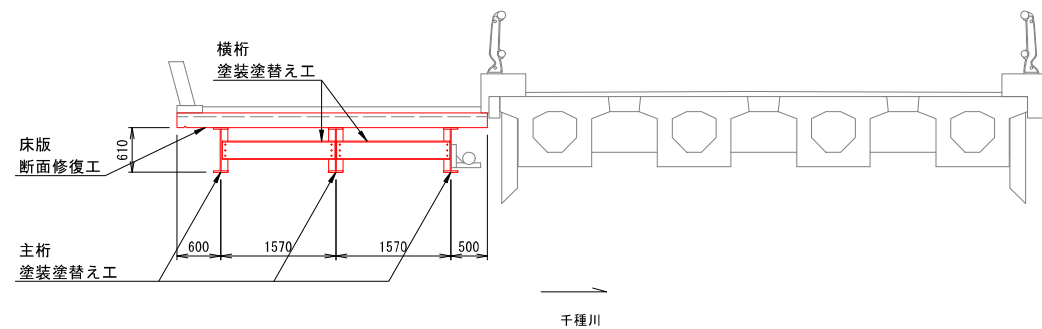


補修計画図

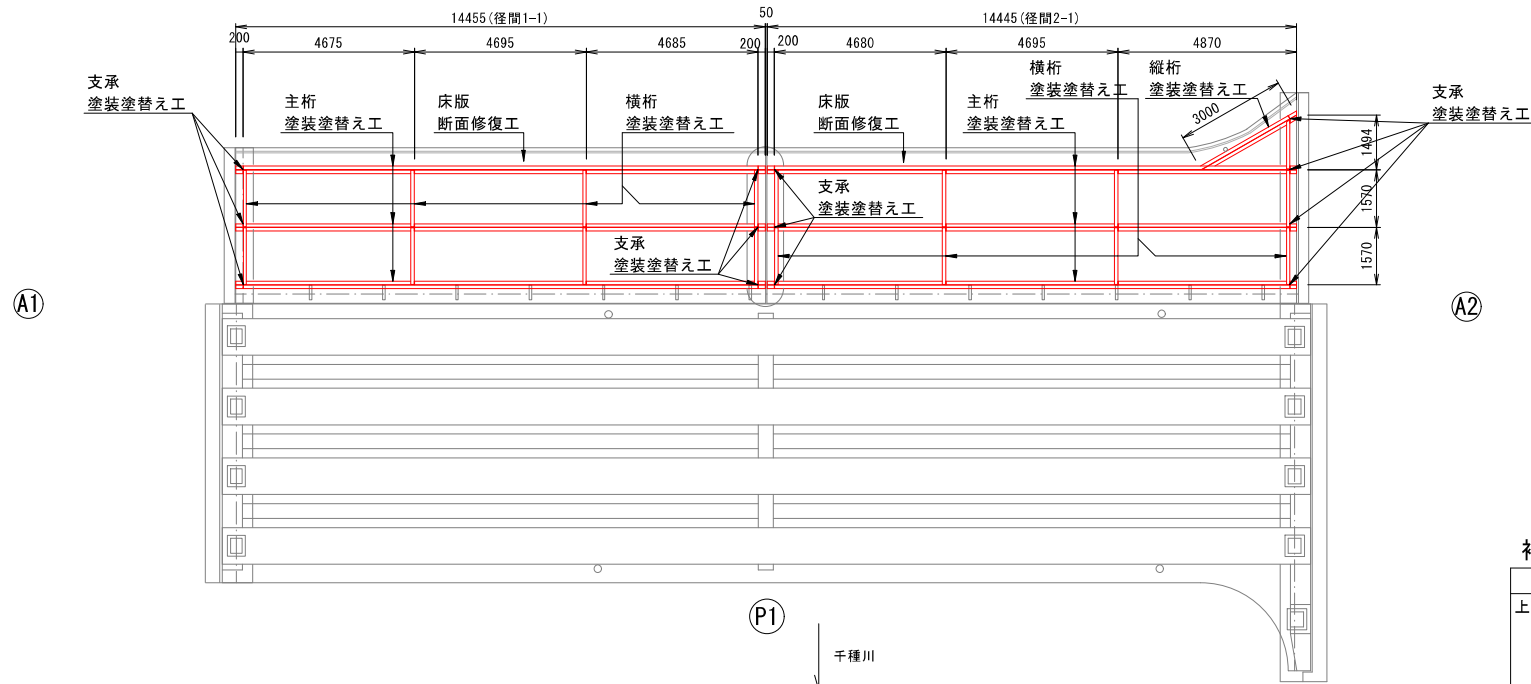
側面図 S=1/100



上部工断面図 S=1/50



平面図(桁下面) S=1/100



補修箇所一覧表

部材	補修項目
上部工	主桁 横桁 縦桁 床版
支承部	支承
	塗装塗替え工
	断面修復工
	塗装塗替え工

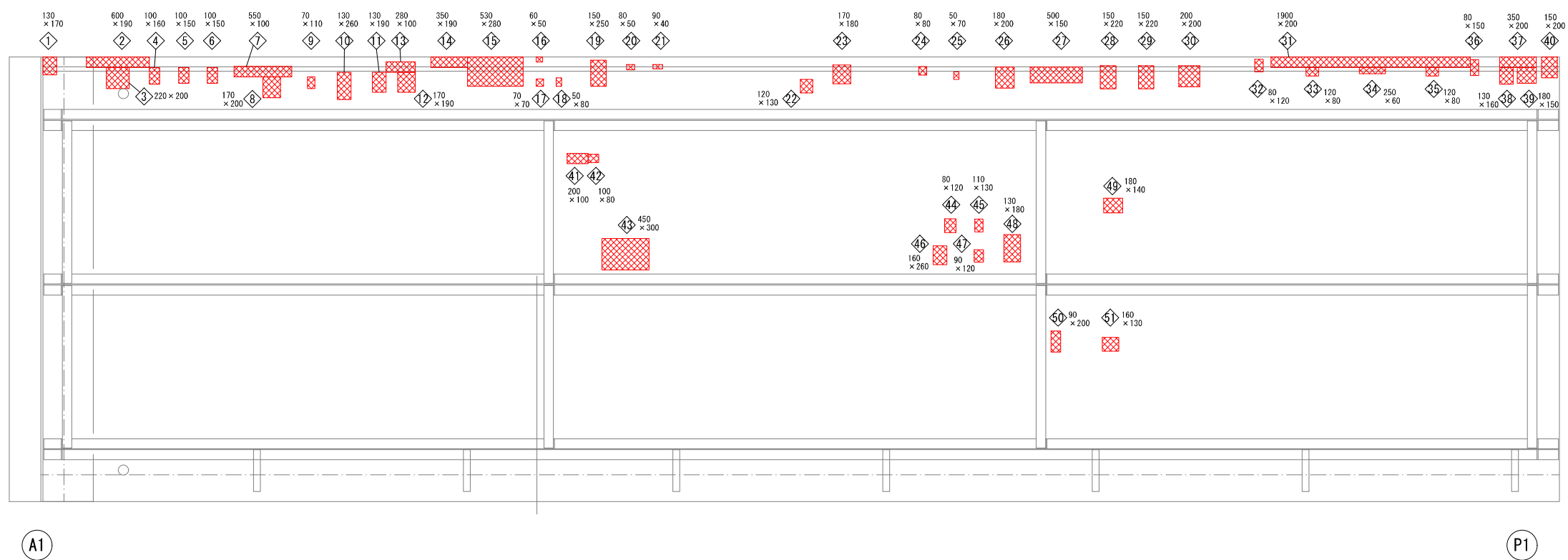


令和8年度 道路メンテナンス事業	
七野大橋橋梁修繕工事	
(市)室七野線	
茨城県千種町七野 地内	
補修計画図	1/6
縮尺 図示(A1)	
茨城県	

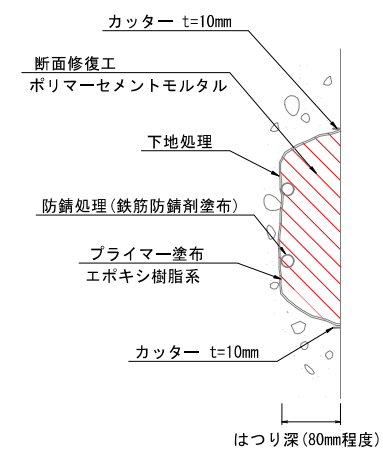
断面補修工計画図①

S=1:25

桁下：径間1-1（歩道部 A1-P1間）



断面修復工参考図



補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	

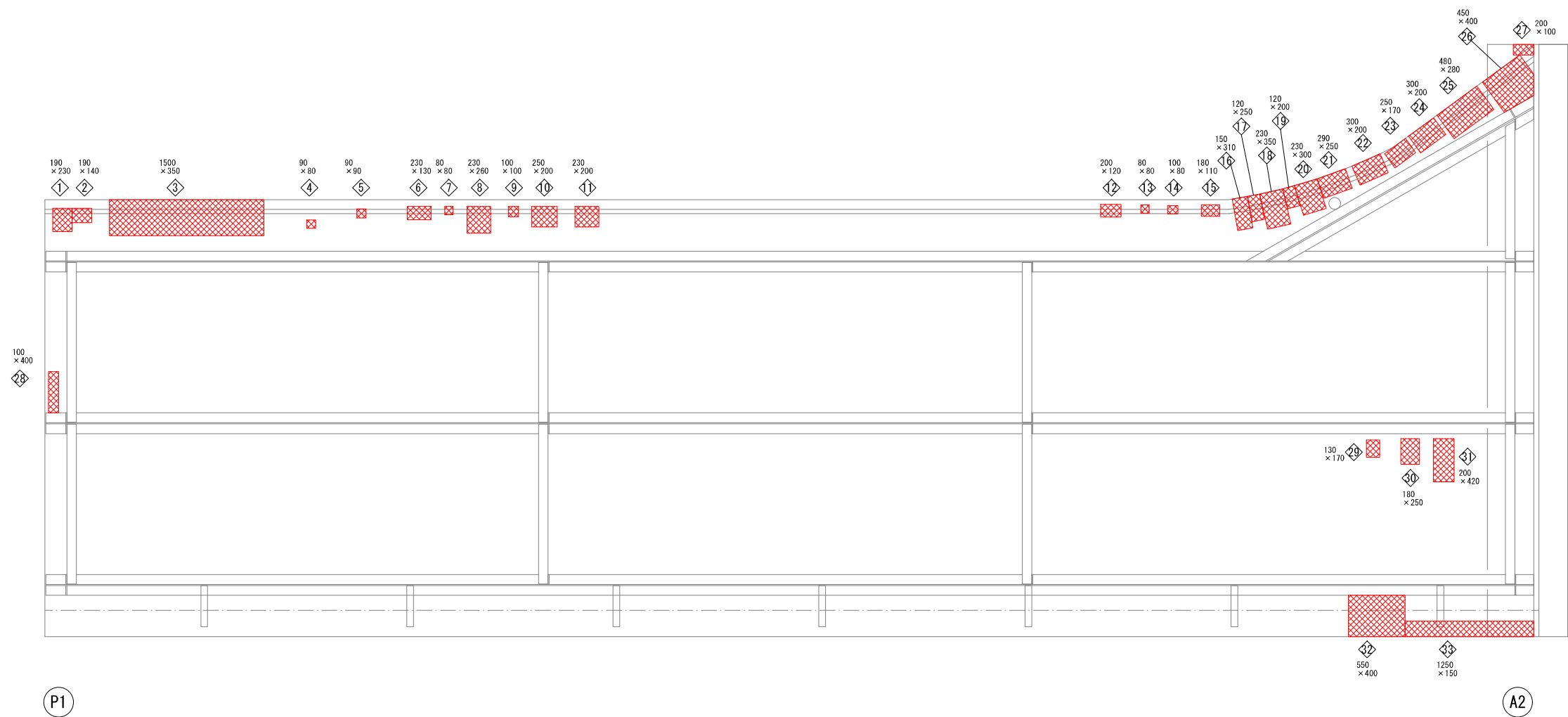


令和8年度 道路メンテナンス事業	
七野大橋橋梁修繕工事	
(市)室七野線	
矢栗市千種町七野 地内	
断面補修工計画図①	2 全
縮尺 図示(A1)	6
矢 栗 市	

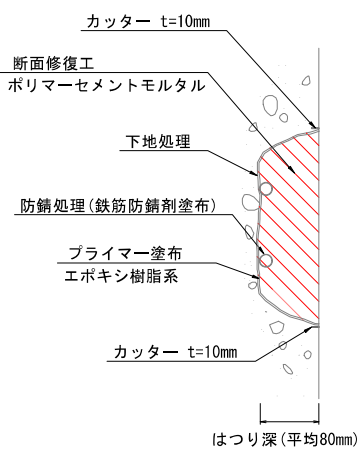
断面補修工計画図②

S=1:25

桁下：径間2-1（歩道部 P1-A2間）



断面修復工参考図



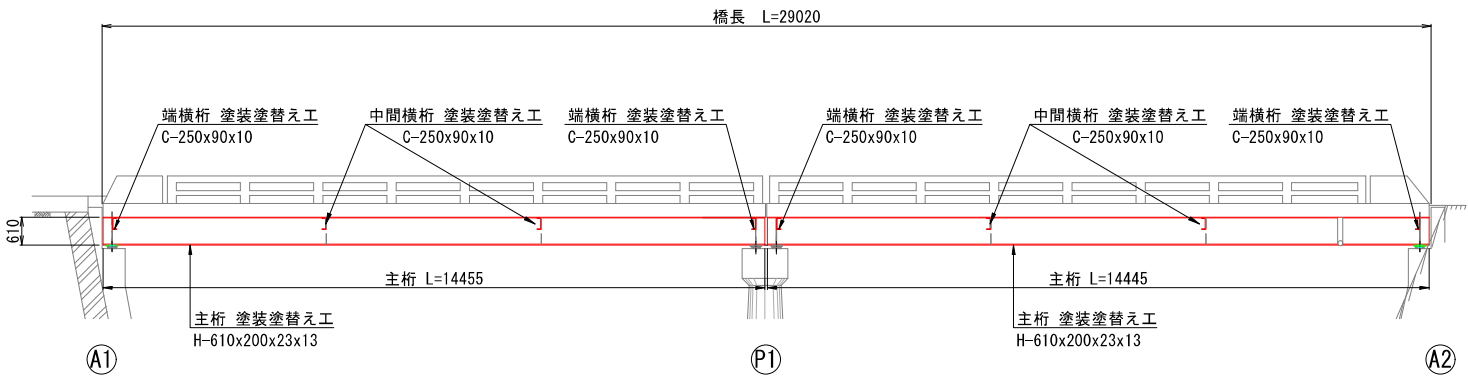
補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	



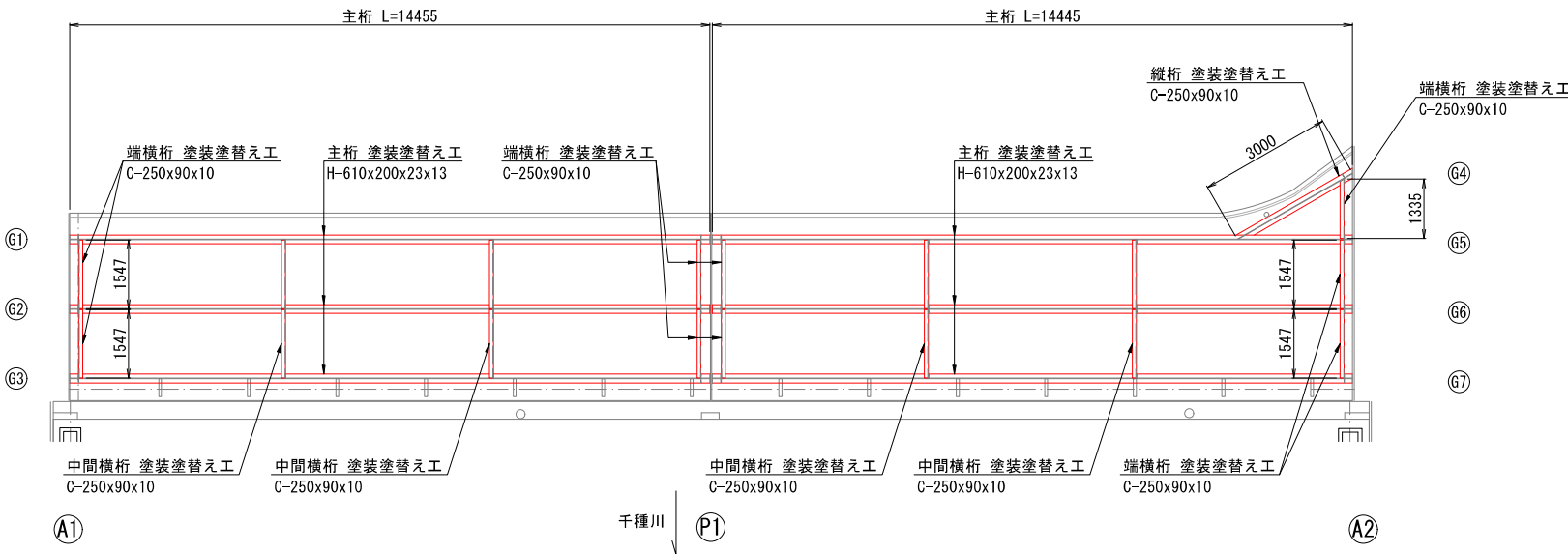
令和8年度 道路メンテナンス事業	
七野大橋橋梁修繕工事	
(市)室七野線	
穴粟市千種町七野 地内	
断面補修工計画図②	3 全
縮尺 図示(A1)	6
穴 粟 市	

塗装塗替え工計画図①
(主桁、横桁、縦桁)

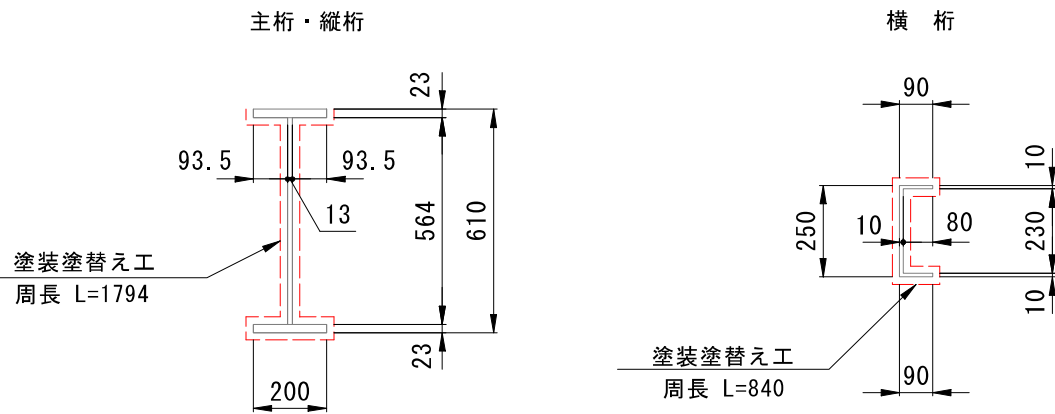
側面図(歩道側) S=1/80



平面図(桁下面) S=1/80



部材詳細図 S=1/10



塗装塗替え工(主桁、横桁、縦桁)

工 種		名 称	仕様・寸法	単位	数量	備 考
塗装塗替え工		塗装面積	Rc-II 塗装系	m2	186.1	
		塗膜剥離剤	STRIPPER同等品以上	m2	186.1	
		素地調整面積	2種ケレン	m2	186.1	

(A1-A2径間)

塗装塗替え工詳細図

剥離剤による塗膜除去+Rc-II 塗装系

1. 素地調整(塗膜剥離剤、2種ケレン)
2. 有機ジンクリッチペイント (0.60kg/m2)
3. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (0.20kg/m2)
4. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗 (0.20kg/m2)
5. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗 (0.14kg/m2)
6. 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗 (0.12kg/m2)

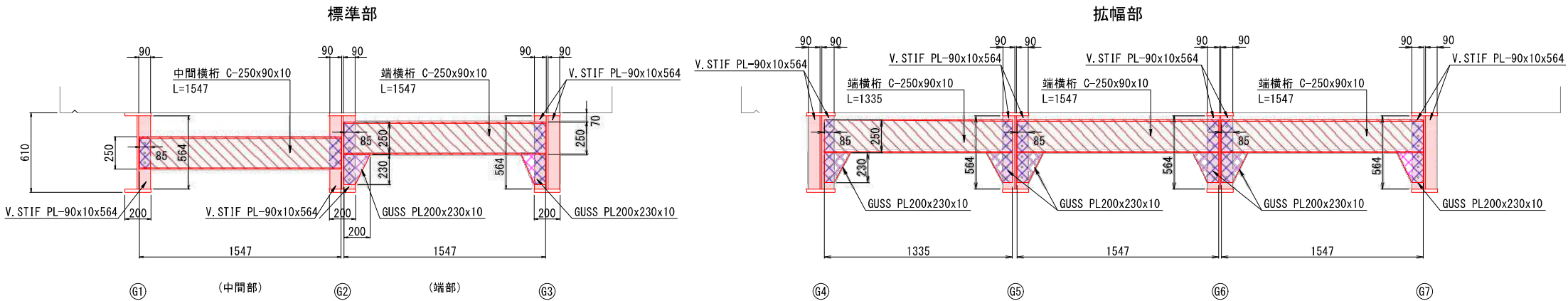
塗装塗替え仕様 Rc-II 塗装系 (はけ、ローラー)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	2 種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(600)	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	140	1日~10日
上 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	120	1日~10日

鋼道路橋防食便覧 P. II-119

※ 既塗装の仕様によって、剥離剤の効果が異なるため、施工時に試験塗りを行ったうえで材料を選択すること。

横桁詳細図 S=1/20



塗装工 凡例

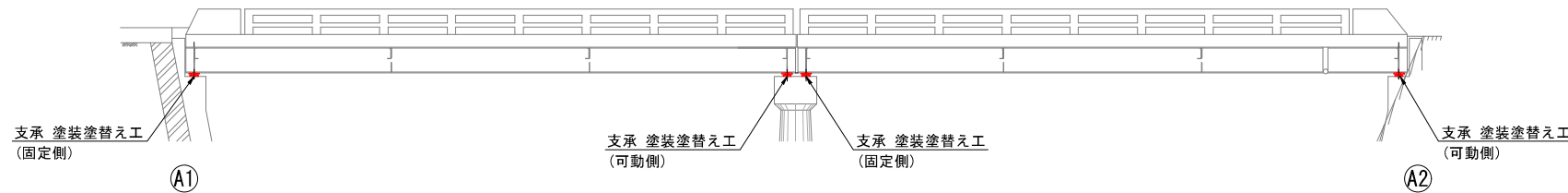
部材名称	表示
主 桁	○
中間横桁	▨
V. STIF	●
GUSS	▦
控 除	▧



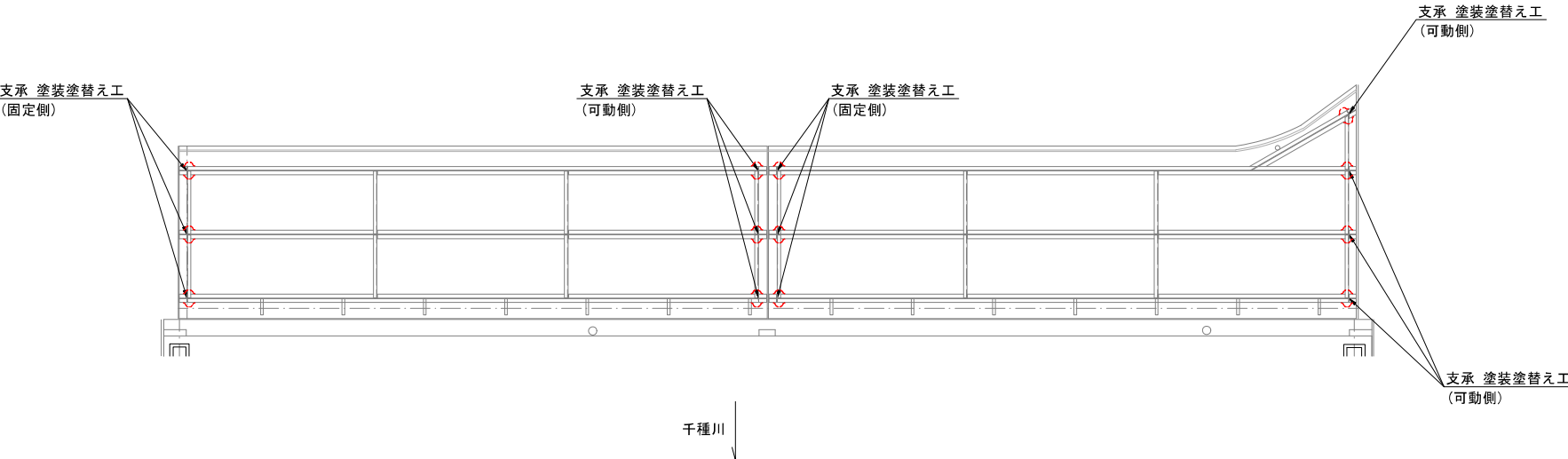
令和8年度 道路メンテナンス事業	
七野大橋橋梁修繕工事	
(市)室七野線	
矢野市千種町七野 地内	
塗装塗替え工計画図①	4 葉全
縮尺 図示(A1)	6
矢 野 市	

塗装塗替え工計画図②
(支承)

側面図(歩道側) S=1/80

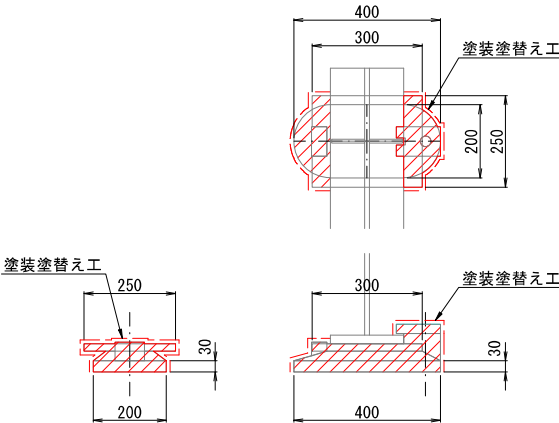


平面図(桁下面) S=1/80



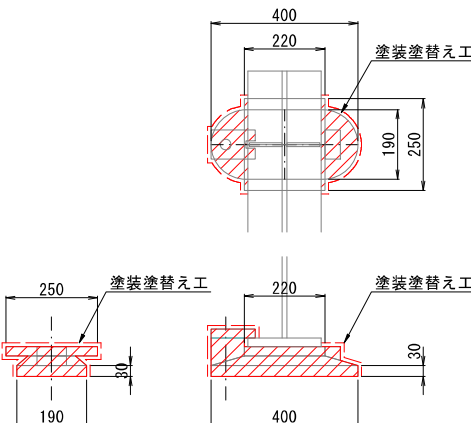
支承詳細図 S=1/10

固定側



固定側	
塗替面積	A=0.28m ²
箇所数	6箇所

可動側



可動側	
塗替面積	A=0.24m ²
箇所数	7箇所

塗装塗替え工(支承)

(A1-A2径間)

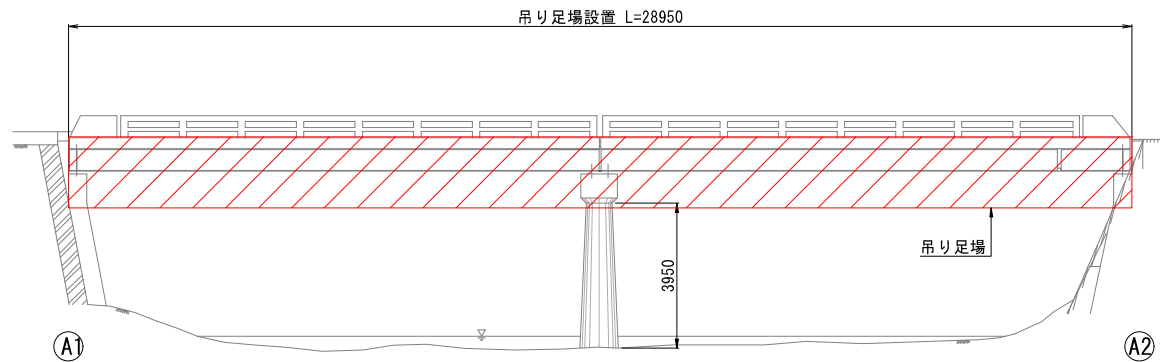
工種	名称	仕様・寸法	計算式	単位	数量
塗装塗替え工	塗替面積	Rc-II 塗装系	$0.28 \times 6 + 0.24 \times 7 = 3.36$	m ²	3.36
	塗膜剥離剤	STRIPPER同等品以上	$0.28 \times 6 + 0.24 \times 7 = 3.36$	m ²	3.36
	素地調整面積	2種ケレン	$0.28 \times 6 + 0.24 \times 7 = 3.36$	m ²	3.36



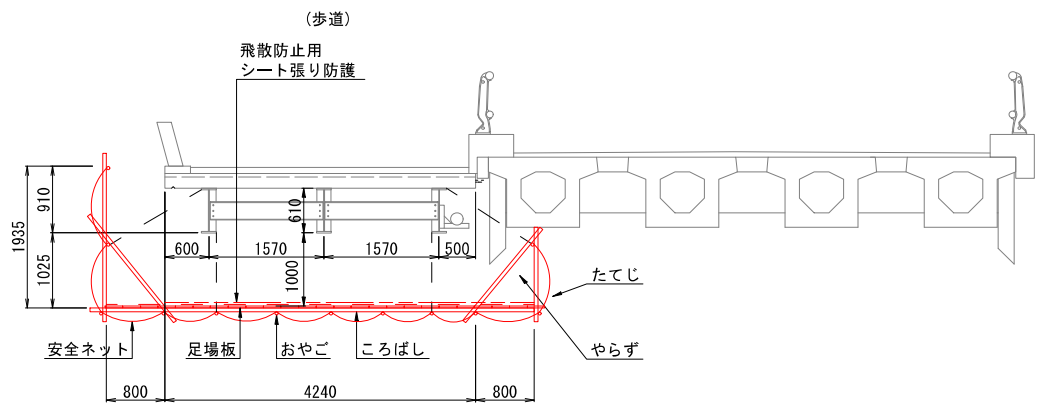
令和8年度 道路メンテナンス事業	
七野大橋橋梁修繕工事	
(市)室七野線	
尖栗市千種町七野 地内	
塗装塗替え工計画図②	5 画
縮尺 図示(A1)	6
尖栗市	

仮設工参考図(足場工)

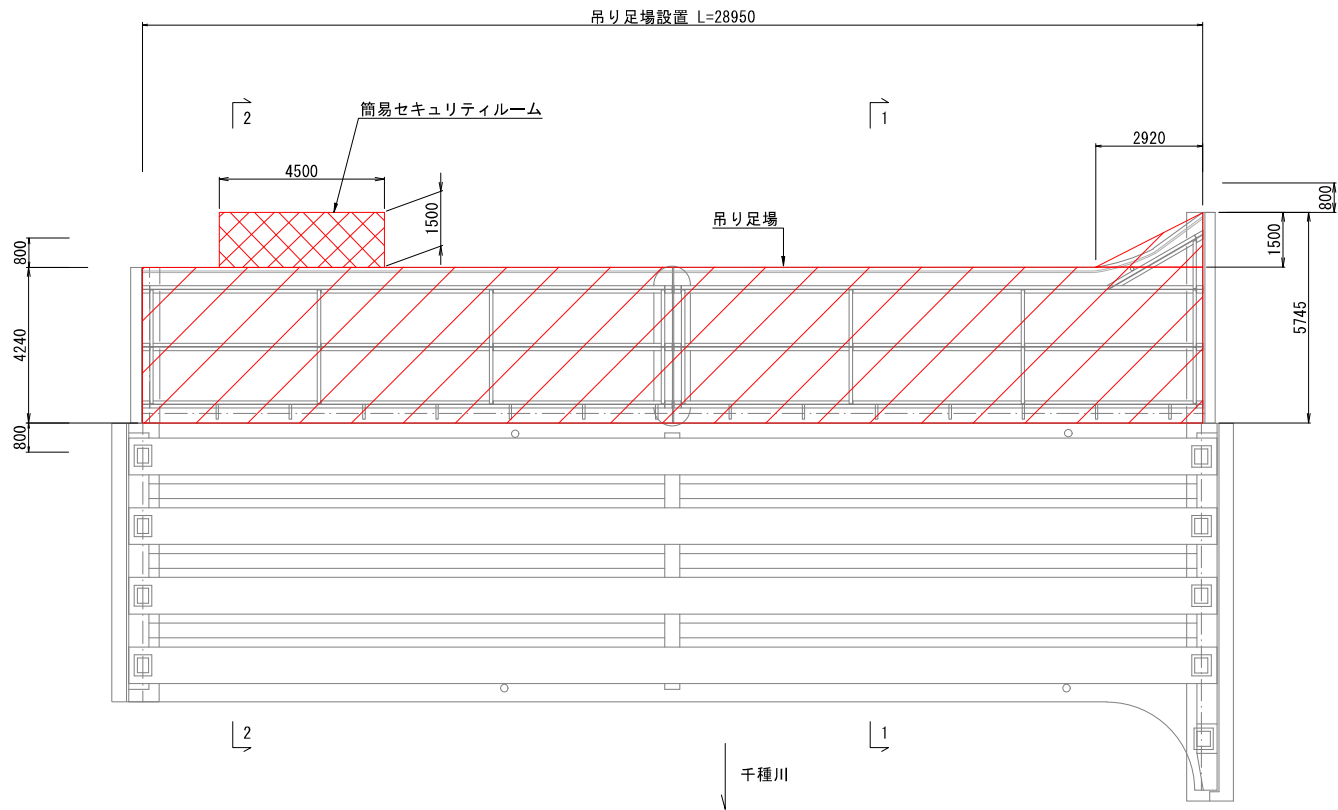
側面図 S=1/100



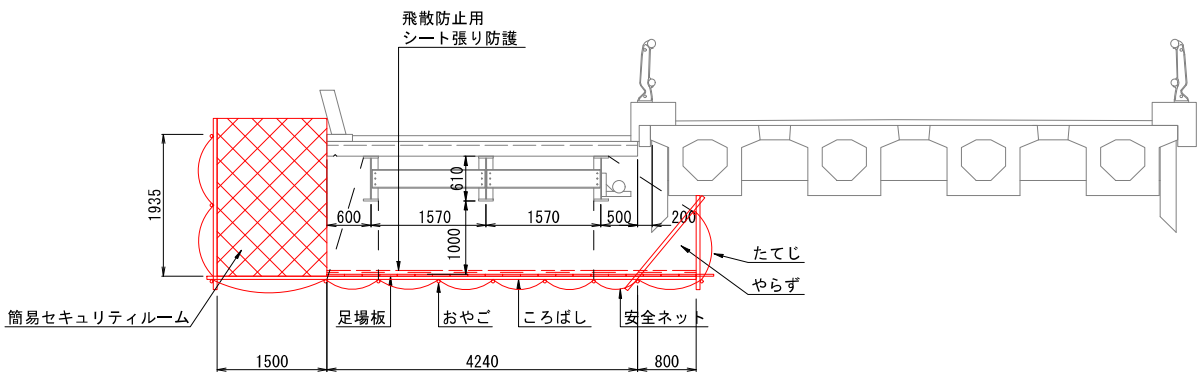
上部工断面図(1-1断面) S=1/50



平面図(桁下面) S=1/100



上部工断面図(2-2断面) S=1/50



令和8年度 道路メンテナンス事業	
七野大橋橋梁修繕工事	
(市)室七野線	
中央市千種町七野 地内	
仮設工参考図(足場工)	6 全
縮尺 図示(A1)	6
中央市	